



# 四月(小) 卯 月 虚宿

四月五日清明の節より  
月命庚辰三碧木星の月  
暗剣殺東の方

旧 二月大  
三月小

日	曜日	干支	九星	行	車	旧暦	六輝	中段	其宿	下段	日出入	月出入	満潮	干潮
1日	水	ひのとつじ	五黄	新学年、新会計年度、親鸞聖人誕生会、エープリルフール	旧二月大	十三	友引	さだん	壁	神よし	5.29	18.02	15.13	3.32
2日	木	つちのえさる	六白	日光輪王寺強飯式		十四	先負	とる	奎	神よし	5.27	18.03	16.06	4.04
3日	金	つちのとじ	七赤	隠元禪師忌、旧ねはん会、一粒万倍日		十五	佛滅	やぶる	婁	直孝よし	5.26	18.04	17.00	4.36
4日	土	かえいぬ	八白	○望二時〇六分、佐原香取神宮御田權祭、奈良倉田大社祭、神道修成派大祭、岐阜伊奈波祭		十六	大安	あやぶ	胃	大みやう	5.24	18.05	17.55	5.07
5日	日	かのと	九紫	清明一、時三九分、復活祭		十七	赤口	あやぶ	昴	●	5.23	18.05	18.05	5.39
6日	月	みづのえね	一白	春の全国交通安全運動(15日迄)、八せん始め、一粒万倍日、不成就日		十八	先勝	なる	畢	天おん	5.22	18.06	19.45	6.13
7日	火	みづのとうし	二黒	法然上人誕生会、世界保健デー		十九	友引	おさん	觜	十し	5.20	18.07	20.42	6.50
8日	水	きえのと	三碧	花まつり、灌仏会		廿	先負	ひらく	参	ちいみ	5.19	18.08	21.38	7.30
9日	木	きえのと	四緑	笠間稲荷春季例大祭、長浜曳山祭(17日迄)、一粒万倍日		廿一	佛滅	とづ	井	神よし	5.17	18.09	22.34	8.14
10日	金	ひのえ	五黄	京都平野神社桜祭		廿二	大安	たつ	鬼	大みやう	5.16	18.10	23.27	9.04
11日	土	ひのと	六白	メートル法公布記念日		廿三	赤口	のぞく	柳	母倉	5.15	18.10	24.19	9.58
12日	日	つちのえさる	七赤	○下弦二、時四四分、世界宇宙飛行の日、京都今宮神社やすらい祭(12日迄)、大津日吉大社山王祭(15日迄)、三隣亡		廿四	先勝	みつ	星	母倉	5.13	18.11	25.07	10.57
13日	月	つちのえさる	八白	科学技術週間、京都嵯峨峨虚空蔵十三詣り		廿五	友引	たいら	張	神よし	5.12	18.12	25.99	11.59
14日	火	かえさる	九紫	庚申、不成就日		廿六	先負	さだん	翼	大みやう	5.11	18.13	26.92	12.59

役所、会社の年度始め、新学年、新入社等、新しい何か動き始める躍動の月である。

気温は日一日と上がり、陽光も明るさと強さを増してくる。上旬には南のほうから桜前線が順調なペースで北上してこよう。

【冠】幼稚園から小学校、中学校、高等学校、大学まで、青少年たちにとって新学年は一つの関門、そして一年間のスタートラインである。

また、大きな転機としての就職がある。社会人としての自覚と責任をたずさえて、荒海へと旅立つのだ。昔であればさしずめ初陣というところであろう。

【誓】陽気がよく、シーズンとしてはまことに最適といえよう。結婚式を挙げる人も多いが、披露宴などに参加する人も多し、スピーチをする人は当然のこと、短

日	曜日	干支	九星	行	車	旧暦	六輝	中段	其宿	下段	日出入	月出入	満潮	干潮
15日	水	かのと	一白	高山山王祭、京都松尾大社中西大祭		廿七	佛滅	とる	軫	大みやう	5.09	18.14	27.84	20.46
16日	木	みづのえいぬ	二黒			廿八	大安	やぶる	角	月とく	5.08	18.14	28.77	21.36
17日	金	みづのと	三碧	土用一七時〇四分、八せん終り		廿九	赤口	あやぶ	亢	●	5.07	18.15	29.69	22.21
18日	土	きえ	四緑	発明の日、天理教教祖誕生祭、甲子、一粒万倍日		卅	先勝	なる	氐	くま日	5.05	18.16	30.61	23.02
19日	日	きえ	五黄	●朔三時五七分、不成就日、旧三月小		朔	先負	おさん	房	十し	5.04	18.17	31.53	23.40
20日	月	ひのえ	六白	穀雨一八時四二分、郵便週間、郵政記念日		二	佛滅	ひらく	心	くま日	5.03	18.18	32.45	24.02
21日	火	ひのと	七赤	旧ひな祭、一粒万倍日		三	大安	とづ	尾	くま日	5.02	18.19	33.37	24.36
22日	水	つちのえさる	八白	靖国神社春祭、滋賀多賀大社古例大祭		四	赤口	たつ	箕	五む日	5.00	18.19	34.29	24.70
23日	木	つちのと	九紫	己巳		五	先勝	のぞく	斗	母倉	4.59	18.20	35.21	25.04
24日	金	かえ	一白	大つち、三隣亡		六	友引	みつ	牛	母倉	4.58	18.21	36.13	25.38
25日	土	かのとつじ	二黒	奈良興福寺文殊会		七	先負	たいら	女	大みやう	4.57	18.22	37.05	25.72
26日	日	みづのえさる	三碧	●上弦八時五五分、京都松尾大社神幸祭		八	佛滅	さだん	虚	大みやう	4.56	18.23	37.97	26.06
27日	月	みづのと	四緑	和歌山川辺道成寺鐘饗養、不成就日		九	大安	とる	危	神よし	4.54	18.24	38.89	26.40
28日	火	きえ	五黄	日蓮宗開宗会		十	赤口	やぶる	室	神よし	4.53	18.25	39.81	26.74
29日	水	きのと	六白	○昭和の日、御嶽山大教火渡祭、米沢上移まつり、水沢日高火防祭、京都壬生狂言(5月5日迄)		十一	先勝	あやぶ	壁	●	4.52	18.25	40.73	27.08
30日	木	ひのえ	七赤	佐賀有田陶器市(29日)5月5日迄、一粒万倍日		十二	友引	なる	奎	母倉	4.51	18.26	41.65	27.42

挨拶にも注意をしなければいけない。ことに縁起の悪い言葉を使わないことである。例えば、戻る、再び、去る、重ね、返る(帰る)、離れる、薄い、等、たかが言葉尻ではないか、と思うかもしれないが、めでたいうかもしれない。めでたいうかもしれない。めでたいうかもしれない。

【祭】四月八日は、仏教の祖、釈迦牟尼(しゃかにん)が生まれた日である。釈迦はインドのヒマラヤ南麓の迦毘羅(かびら)城の王子として生まれた。幼名は悉達多(しつたると)といひ、三十五歳で仏道の悟りを開いて後、八十歳で入滅するまで、四十五年間布教に専念されたという。

その釈迦誕生日、一般には「花まつり」といっているが、正式には灌仏会(かんぶつえ)仏生会(ぶつたけ)と呼ぶ。花で飾った小盆とお堂を作り、誕生仏の像をまん中に安置し、その頭上から竹柄杓で甘茶を三回そいで拝むならわしがある。

二十九日は「昭和の日」、激動多難の時代を歩まれ、太平のもとを切り拓かれた昭和天皇の誕生日である(平成十九年施行)